

さとるの化け物

昔、ある所に利助りすけどんという木こりがいました。

ある日のこと、利助どんがいつものように、山に入こって

木を伐きっていると、いつの間にか見知らぬ小僧がいます。

誰たれだろうと思って、声をかけようとすると、

「お前、今おらのことを誰だと聞きこうとしたな。」
と、言います。

利助どんは、もう一度しげしげとこの小僧を見ました。
なんで、この小僧は自分が言おうとしたことが分かった
のだろう。

「お前、今なんでおらが、お前が考えていることを分か
ったのか、不思議に思ったな。」

小僧は顔色も変えずに、またそう言います。

それで利助どんは昔からの噂うわさを思い出しました。山奥
に、人の思ったことを何でも言い当てるさとるという化
け物がいて、人がさとるに言い当てられないようなこと
を、思いつかないかぎり、最後には人を食い殺してしま
うというのです。

この小僧が本当に、そのさとるの化け物なのだろうか。
もし、そうなら大変です。

「お前、今おらがもしさとるなら、大変だと思ったな。」
また、小僧が言います。

やっぱりこいつはさとるだ。さとるの化け物に違いな

い。利助は震え上がりました。しかし、どうすることも出来ません。

利助は仕方なしに、何も考えなくてすむように、つとめて無心に木を伐りはじめました。

「お前、今度はもう何もかんがえないようにしようと、しているな。」

さとるは、真っ赤な口を開けて、にやりと笑いました。

そのときのことです。利助が震える手で木に振り下ろした斧おのが思わずねらいがそれて、木の枝に当たってはね返り、さとるの頭にぐっさり突き刺つさりさりました。

「こりゃ、参った。人間という奴やつは、時には思いもよらぬことをするわい。」

そう言ってさとるは、頭から血を出しながら、山奥に逃げていったということです。

問 みなさんが、さとのの化け物に出会ったら、
どうしますか。